

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第2部門第5区分  
 【発行日】平成19年1月25日(2007.1.25)

【公開番号】特開2001-199230(P2001-199230A)

【公開日】平成13年7月24日(2001.7.24)

【出願番号】特願平11-350701

【国際特許分類】

B 6 0 H 1/32 (2006.01)

F 2 5 B 41/06 (2006.01)

【F I】

B 6 0 H 1/32 6 1 3 B

F 2 5 B 41/06 K

【手続補正書】

【提出日】平成18年11月30日(2006.11.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】弁本体と、上記弁本体の上端部に設けられダイアフラムの変位に応じて弁体を駆動するパワーエレメント部と、を備えた温度膨張弁であって、上記パワーエレメント部を覆うカバーを設けたことを特徴とする温度膨張弁。

【請求項2】上記カバーは一対のパーツに分割されており、これらのパーツは、上記パワーエレメント部を挟み込んで合体させるように形成されていることを特徴とする請求項1記載の温度膨張弁。

【請求項3】上記カバーは、頭部と、その両側から下方に向けて延出した一対の側部と、を有しており、上記一対の側部により上記弁本体を挟み込んだ状態で上記弁本体に装着されることを特徴とする請求項1又は2記載の温度膨張弁。

【請求項4】上記弁本体の下部には、下方に向かうに従って互いに接近するテープ面が形成されており、上記カバーの各側部の外面は、上記テープ面と同一平面を成すよう形成されていることを特徴とする請求項3記載の温度膨張弁。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するため、本発明の温度膨張弁は、弁本体と、上記弁本体の上端部に設けられダイアフラムの変位に応じて弁体を駆動するパワーエレメント部と、を備えた温度膨張弁であって、上記パワーエレメント部を覆うカバーを設けたことを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

**【 0 0 1 7 】**

また、本発明の温度膨張弁は、上記カバーは一対のパーツに分割されており、これらの  
パーツは、上記パワーエレメント部を挟み込んで合体させるように形成されていることを  
特徴とする。

**【手続補正4】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

**【 0 0 1 8 】**

さらに本発明の温度膨張弁における好ましい具体的態様としては、上記カバーは、頭部  
と、その両側から下方に向けて延出した一対の側部と、を有しており、上記一対の側部に  
より上記弁本体を挟み込んだ状態で上記弁本体に装着される  
ことを特徴とする。

**【手続補正5】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

**【 0 0 1 9 】**

さらにまた、本発明の温度膨張弁の具体的態様としては、上記弁本体の下部には、下方  
に向かうに従って互いに接近するテーパ面が形成されており、上記カバーの各側部の外面  
は、上記テーパ面と同一平面を成すように形成されていることを特徴とする。

**【手続補正6】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】削除

【補正の内容】